

政策05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

評価項目	評価	コメント
施策03 青少年健全育成の推進	概ね適切	検討事項あり

【参照：資料 - 23】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【施策の対象】 小・中学生、高校生、保護者、地域住民</p>	<p>青少年の健全育成のためには、少なくとも20歳未満で就業している人たちや未就業で学校等に属さない人たちも想定できるので、地域住民にプラスして企業等も対象とした方が良い。</p>	<p>検討する。</p>
<p>【施策の意図】 青少年の悩みや問題行動が解消される。</p>	<p>マイナス面だけではなく、健全な生活を営む環境整備などプラス方向の「意図・施策のねらい」を設定できないか検討願いたい。成果指標①とマイナス面の②の数値に合致するため。</p>	<p>検討する。</p>
<p>【施策の達成状況】 小中学生の抽出アンケートよれば、社会生活や集団生活のルールなどの大切さを理解している児童・生徒の割合はやや上昇傾向にある。青少年1,000人当たりの検挙・補導等人数は、20.9人で後期目標値を達成しているが、問題行動は低年齢化、多様化しており、減少傾向が今後も継続するか予断を許さない状況であり、推移を注視する必要がある。</p>	<p>「上昇傾向にある」「後期目標値を達成している」と書いてあるが、「なぜそのような状況なのか」について触れていないので、その辺の補記を要望する。</p>	<p>背景等を踏まえて分かりやすいよう表現を検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【施策の成果指標】</p> <p>①社会生活や集団生活のルールなどの大切さを理解している児童・生徒の割合</p> <p>②青少年の検挙・補導等人数（対1,000人当）</p>	<p>指標の対象年齢に高校生や中学校を卒業した20歳未満の方が欠落している。施策は20歳未満を対象としていることから、補足する指標の設定を検討した方が良い。基本事業も同様。</p>
	<p>成果指標②の後期目標値が「30」となっているが、21年度の成果値「20.9」とは10件も乖離しており、今後の目標値として相応しいのか。</p>
	<p>高校中退、不登校になり義務教育を終わっていない子どもたちの生活実態や就業形態などは把握しているのか。把握できるのであれば指標②との兼ね合いも見えてくると思われる。</p>
	<p>問題行動が低年齢化・多様化している状況を踏まえると、健康福祉部などとも連携していかなければならない。指標②が減り、あまり悪い子どもたちはいない、というような把握にならないよう、きちっとしたものを据えていく必要があると思うので検討願う。</p>

政策05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

評価項目	評価	コメント
施策03 青少年健全育成の推進 基本事業01 青少年健全育成活動の充実	概ね適切	検討事項あり

【参照：資料 - 24】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【事業の目的と意図】 目的：家庭、学校、地域が連携して社会ルールの理解や遵守の教育を行います。また、ボランティア活動や体験学習などの地域教育を通じて、青少年の健全育成を目指します。 意図：学校、家庭、地域が連携し、人として守らなければいけない命の大切さや社会ルールの理解や遵守の教育を行なうとともに、ボランティア活動や体験学習等、青少年が参加できる地域教育機会の充実を行なう。</p>	<p>「地域教育」との表現があるが、これは曖昧な表現だと思うので、具体的な表現にした方が分かりやすいと思う。</p>	<p>「地域教育」の表現について精査する。</p>
<p>【事業の成果指標】 ①健全育成の活動のために学校・家庭・地域が連携して行っている取組み事業数 ②ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童・生徒の割合</p>	<p>成果指標の①で後期目標値60をすでにクリアしているが、設定はこのままで良いのか。</p>	<p>防犯パトロール隊や子ども見守隊などの団体に限定しており、団体としてはピークに近いと思うが、生涯学習全体での位置づけであれば、数値を見直していく必要があると考える。</p>
	<p>目標値を見直すことはできるのか。</p>	<p>総合計画の目標数値を5ヵ年の途中で見直すことは難しい。単年度の施策達成度状況報告書の中で、説明していくことは可能かと思う。</p>
<p>【事業の達成状況】 犯罪や交通事故など危険から子ども見守る活動は年々地域に浸透し、学校と家庭、地域が一体となって活動を行う団体の数も増えている。ボランティア活動や体験学習に参加する児童・生徒の割合は微減であるが、今後も地域の青少年団体による各種活動への参加促進を図るなど、青少年の成長に必要な種々の実体験の場の提供を継続して支援していく必要がある。</p>	<p>「年々地域に浸透し」とあるが、浸透した理由が必要ではないか。「児童・生徒の割合は微減である」とあるが、微減である理由について触れていただく必要があると思う。</p>	<p>活動の団体数が増えているため「浸透している」と表現しているが、分かりやすい表現と微減である理由分析について検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【事業の成果指標】</p> <p>①健全育成の活動のために学校・家庭・地域が連携して行っている取組み事業数</p> <p>②ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童・生徒の割合</p>	<p>「健全育成のために」だけでは限界があると思う。この問題は学校教育・生涯学習そのものの問題として捉えて進めていく必要がある。特に、子どもたちの社会参画体験や異世代間の交流などへ統合的に取り組むべきだと思う。</p>

政策05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

評価項目	評価	コメント
施策03 青少年健全育成の推進 基本事業02 心のケアの充実	概ね適切	検討事項あり

【参照：資料 - 24】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
【事業の成果指標】 ①相談が役に立ったと思う児童・生徒・保護者の割合	意図に「悩みを相談できる場があり」とあるので、場が充実しているかの指標も必要ではないか。現在の指標に加える形で検討願う。	心の教室相談員やスクールカウンセラーの配置人数などの指標が設定できるかと思われる。
【事業の達成状況】 いじめ、不登校、非行等の悩みに関わる指導・相談体制として、小学校全校に心の教室相談員・中学校全校にスクールカウンセラーを配置しているほか、週1回青年センターでカウンセラーによる教育相談や専任指導員によるスポットケアを行うなど、様々な悩みを持つ青少年や保護者に対し適切な指導・助言・支援等が行えるよう相談業務体制をとっている。アンケートでの利用者の満足度は横ばいであり、より充実した相談体制の整備を図っていく必要がある。	「アンケートでの利用者の満足度は横ばいであり」とあるが、達成状況は原因分析が重要だと思うので記載願う。	次年度に向けて分析し表現することを検討する。

担当部署の評価内容	委員の意見
【事業の達成状況】 いじめ、不登校、非行等の悩みに関わる指導・相談体制として、小学校全校に心の教室相談員・中学校全校にスクールカウンセラーを配置しているほか、週1回青年センターでカウンセラーによる教育相談や専任指導員によるスポットケアを行うなど、様々な悩みを持つ青少年や保護者に対し適切な指導・助言・支援等が行えるよう相談業務体制をとっている。アンケートでの利用者の満足度は横ばいであり、より充実した相談体制の整備を図っていく必要がある。	カウンセリングやケアの大切さは否定しないが、子どもたちの悩みも時代背景を考えると深刻化している可能性がある。相談に出ない問題もある。それに対応する指導者の養成も必要だが、今後は、子どもたち一人ひとりの兆候や予兆を掴んで、事前に手当てしていくというような指導力も必要になってくるとと思われる。

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【事業の全体の指摘】</p>	<p>心のケアの充実を図ることが、どのようにフィードバックされているのかの検討が必要である。今後、問題は増え、難解化、低年齢化してくると思われるが、これを解決していくためのフィードバックの仕組みが必要であり、学校教育の中で先生方がどのように受けとめて教育に消化させていくのかまで連携を取らなければ成果は出てこないと思われる。仕組みづくりをしっかりとした上で、連携して成果指標を作るというような方策を検証願う。</p> <p>青少年の分野については全庁的な取組みが必要となる。 青少年の定義が小学生以上20歳未満となっているが、高校生以上20歳未満が手当てされていない感じがするので「そこに打つ手はないのか・基本事業が一本必要ではないか」その辺も検討願う。</p>